

# 120歳通信 2019年6月号（617分の81号）

発行元 444-0124 愛知県額田郡幸田町深溝上池田36 税理士法人TMS 吉見典生

TEL0564-62-8144 090-2348-2126 Fax0564-62-9696 E-mail [papi@tms21.jp](mailto:papi@tms21.jp)

URL: <http://waraiyoga.pw> <http://tms21.jp>

## 第24回はがきびとの集い in 幸田へいらっしゃい



尾道ファイナルで落語を演ずる  
よしみ亭ひのでさん

### 第一部 日時：令和元年11月16日（土）

午後1：30～4：30（12時より受付はじめています。早くお見えの方のため美人の妻がおにぎりや甘酒等でもてなしてくれます。

**催事：**①**2分間スピーチ** あなたが主役です。テーマ：「わたしの夢」（「最近見た夢」でもいいです）②**落語** よしみ亭ひのでさん（立林浩明さんのことです）：「寿限無」③**あなたの悩み事を笑い飛ばすゲーム：**伊坪浩幸さん指導④**ひと筆書き世界一周旅行3分の1の報告：**吉見報告。

**定員：**25名（TMSのスタッフ除く）参加者25名を超える場合はキャンセル待ちをしていただきます。キャンセルが決まったら早めにお知らせください。**参加費：**1,000円

**第二部** 第二部は多くの方から日帰りできる内容のものにしてほしいというご意見をいただいておりますが、遠隔地からの参加者のためやはり今年も一泊とさせていただきます。**日時：**令和元年11月16日（土）午後5：30～8：30 **場所：**西尾市幡豆町東幡豆 岡田屋（第一部の会場TMSから車を乗り合わせて移動します）**懇親会：**海の幸の料理で飲食しながら楽しめます。カラオケは呼吸法として健康に良いので今年も皆さんに大いに歌ってもらいます **宿泊：**男女別に大部屋で心いくまでだべりながら眠りに入ります。**参加費：**10,000円（懇親会のみの場合は5,000円）**翌日の楽しみ：**運が良ければ、散歩中三河湾の美しい日の出が見られます。朝食後解散となります。

**お申込み期限：**第一部、二部ともに11月10日。**お申込みは：**はがき、電話、FAXまたはURL [www.waraiyoga.pw](http://www.waraiyoga.pw)にてお申込み下さい。お支払いはすべて当日お願いします。**定員：15名**（定員オーバーの時はキャンセル待ちとなります）

会社の慰安会で北京・万里の長城へ行ってきました。



# 120歳通信 2019年7月号（617分の82号）

発行元 444-0124 愛知県額田郡幸田町深溝上池田36 税理士法人 TMS 吉見典生

TEL 0564-62-8144 Fax 0564-62-9696

URL [www.waraiyoga.pw](http://www.waraiyoga.pw) E-mail [papi@tms21.jp](mailto:papi@tms21.jp)



「ひと筆書き世界一周の旅」を続けている。「ひと筆書き」とは、航空機を使わずに電車、バス、船、徒歩で旅を続けることだ。これまでは、家の玄関から、駅まで妻に送ってもらい電車で下関まで行き、そこから船で韓国釜山に渡り列車でソウルへ行き、仁川から船で中国青島に渡り、中国大陸をひたすら列車で西進し、カザフスタンに入りキリギス、ウズベキスタンを通り、カスピ海まで到達した。そこでいったん帰国し翌年の2017年6月再びカスピ海の畔アクタウへ行き、そこから、カスピ海を船でアゼルバイジャンのバクーへ渡り列車、バス、船、徒歩でジョージア→黒海沿いにトルコ・イスタンブール→ブルガリア、マケドニア、コソボ、アルバニア→アドリア海を船でイタリア→地中海を船でスペインのバルセロナ→小国アンドラ→バスで地中海沿いにジブラルタル→アフリカ大陸のモロッコ→スペイン領セウター→スペインのジブラルタル→ポルトガルのバルセロスから徒歩でスペインのサンチャゴ・デ・ポステーラまで巡礼した。そこから列車でマドリード、バルセロナを通り、フランス・ニース→モナコ→イタリア・ヴェネツィア→アドリア海を船でクロアチア・ブーラー→ハンガリー→ポーランド→チェコ→ドイツ・フランクフルト、そこから飛行機で帰国した。今年は8月の下旬、フランクフルトまで飛びそこから前回の旅で友達になった人を訪問しながらベルギー、ルクセンブルグ、オランダ、北欧4国、バルト3国を経て、ロシアのサンクトペテルブルクへ入り、モスクワからシベリア鉄道でモンゴル、中国に入り上海から船で大阪へ着き、列車で蒲郡まで行き妻に車で迎えに来てもらうつもりである。ユーラシア大陸とアフリカの一部を家の玄関から出発して飛行機を使わずに再び家の玄関まで帰ってきたことになる。ここまでのことを12月5日の「125歳宣言の集い in 蒲郡」が開催されるまでに一冊の本にしようと思っている。「ひと筆書き世界一周の旅」のこれから先は、船でウラジオストクに渡り、シベリアを東進しベーリング海峡を船でアラスカに渡り、北米、南米を歩き、80歳までにアルゼンチンの「世界の果て」ウシエアイアを終着点とするつもりである。今回出版する本は、この大旅行の3分の1を記録するものである。本の題名はこの3分の1の旅行が終わってからつけることにする。旅で巡り合うことができるのは、風景、歴史などわくわくすることばかりである。しかし旅先で出会う「人」が最もわくわくする。これからは、ますます語学の勉強に拍車をかけなければならない。とりわけ当面はロシア語の勉強を最重点項目とする。戦場カメラマンの渡部陽一さんに質問したことがある。「世界平和のために私たちにできることは何ですか」と聞いた。答えは「若い人たちがどんどん海外へ行くことです」とのことであった。私なりの解釈では、外国に友達ができれば、たとえ国と国との仲が悪くなくても、また国家間の「国益」の争いがあるとしても、その国の友達と仲良くしたい気になるのである。私たちは「国益」を超えて世界の人々との友情を温めたいものだ。（『ひと筆書き世界旅行3分の1』（仮題）1冊3000円（税込み）予約募集中。氏名、住所を添えて Fax 0564-62-9696 税理士法人 TMS へお願いします）